



様式第19号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和元年6月19日

（あて先）
越谷市長 高橋 努 様

提出者

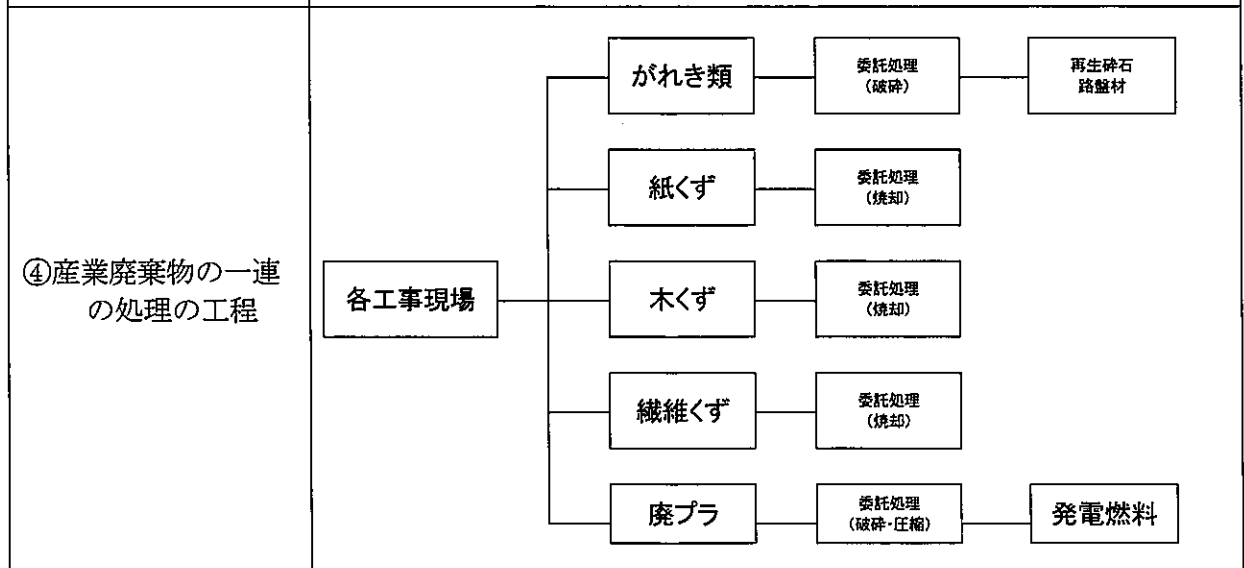
住所 埼玉県越谷市平方南町13番地13
氏名 株式会社さいたま資材
代表取締役 佐久間 誠
（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）
電話番号 048-979-2885

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社さいたま資材
事業場の所在地	越谷市平方南町13番地13
計画期間	令和元年4月1日～令和2年3月31日

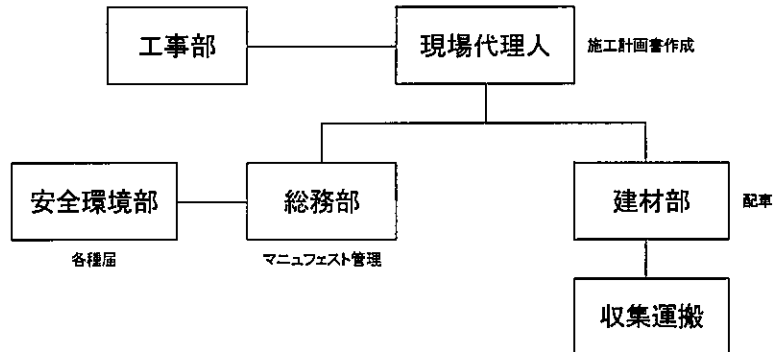
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	大分類：建設業 中分類：職別工事業
②事業の規模	昨年度の越谷市の工事請負金額 1億6,649万円
③従業員数	57名



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項→別紙1

①現状	【前年度 (年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特になし。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラ類の分別により、プラスチックの種類ごとに分け、原材料として再生回収しているものは、リサイクルに回す。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項→別紙2			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項→別紙3			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項→別紙4

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項→別紙5

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者 への処理委託量	t	t
	再生利用業者へ の処理委託量	t	t
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t
	再生利用業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
	(今後実施する予定の取組)	
※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業者ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記載すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記載すること。
 - (2) ②欄には、製造業における製造品出荷額（前年度実績）、建設業における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関における病床数（前年度末時点）等、業種に応じて事業規模が分かるような前年度の実績を記載すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物について発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記載すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量及び自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記載すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記載するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記載すること。
- 6 それぞれの欄に記載すべき事項の全てを記載することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記載し、当該欄に記載すべき内容を記載した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記載し、当該欄に記載すべき内容を記載した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記載すべき事項がないときは、「―」を記載すること。
- 7 ※印の欄には、記載しないこと。

(別紙1)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項						
①現状	【前年度（平成30年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラ	木くず	繊維くず	紙くず
	排出量	2158.2t	12.25t	6.87t	0.48t	0.15t
	(これまでに実施した取組) 特になし					
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラ	木くず	繊維くず	紙くず
	排出量	2100t	11t	6.5t	0.4t	0.13t
	(今後実施する予定の取組) 工事現場以外からの排出を抑制するように、会議等で社員教育をおこないリサイクル運動を展開する。					

(別紙2)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（平成30年度）実績】						
産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラ	木くず	繊維くず	紙くず	
①現状	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	—	—	—	—	—
	(これまでに実施した取組)					
	特になし					
【目標】						
産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラ	木くず	繊維くず	紙くず	
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	—	—	0.3t	—	—	
②計画	(今後実施する予定の取組)					
	木くずについて、粉砕できるものについては、建設機械等を用いて粉砕し、木材チップ等に加工し、肥料等に活用を図る。					

(別紙3)

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（平成30年度）実績】						
産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラ	木くず	繊維くず	紙くず	
①現状	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	—	—	—	—	—
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	—	—	—	—	—
(これまでに実施した取組) これまでに、自社で中間処理を行ったことはない。						
【目標】						
産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラ	木くず	繊維くず	紙くず	
②計画	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	—	—	—	—	—
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	—	—	—	—	—
(今後実施する予定の取組) 引き続き、自社で中間処理をを行う予定はない。						

(別紙4)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項						
①現状	【前年度（平成30年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラ	木くず	繊維くず	紙くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	—	—	—	—	—
	(これまでに実施した取組) これまでに、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはない。					
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラ	木くず	繊維くず	紙くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	—	—	—	—	—
	(今後実施する予定の取組) 引き続き、自社で埋立処分又は海洋投入処分をする予定はない。					

産業廃棄物の処理の委託に関する事項							
①現状	【前年度（平成30年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラ	木くず	繊維くず	紙くず	
	全処理委託量	2158.2 t	12.25 t	6.87 t	0.48 t	0.15 t	
	優良認定処理業者への処理委託量	—	—	—	—	—	
	再生利用業者への処理委託量	2158.2 t	—	—	—	—	
	認定熱回収業者への処理委託量	—	—	—	—	—	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	—	—	—	—	—	
	(これまでに実施した取組)						
	②計画	【目標】					
		産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラ	木くず	繊維くず	紙くず
全処理委託量		2100 t	11 t	6.5 t	0.4 t	6.5 t	
優良認定処理業者への処理委託量		—	—	—	—	—	
再生利用業者への処理委託量		2100 t	—	—	—	—	
認定熱回収業者への処理委託量		—	—	—	—	—	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		—	—	—	—	—	
(今後実施する予定の取組)							
木くず、繊維くず、紙くずを処理業者への委託は、熱回収の認定を受けた処理業者への委託先を追加検討する。							